

参考資料

用語解説

あ行

ウォーカブル

街路や広場などの空間が人中心の空間へと転換され、まちなかへ出歩きたくなること。

ウォーカブル推進道路

基本計画において、居心地の良いウォーカブルなまちづくりを推進するにあたり、特に歩行者や自転車の利便性を高めるとともに、沿道のまちづくりと合わせた整備を図るべき通りとして位置づけた道路。

か行

幹線軸

道路ネットワークにおいて骨格的な役割を持つ道路の軸。市内外を結ぶ交通や市内の拠点間等の交通に対処する道路。

狭あい道路

幅員4 m未満の道路。

交通処理機能

駅前広場を利用する人や自動車等の流出入を処理するための機能であり、歩行空間、車両走行空間、バス・タクシー等の公共交通の乗降・待機場所等のこと。

か行

空洞化

自家用車の普及等に伴い、郊外部での宅地開発や大規模小売店舗の立地等が進んだ結果、都市の中心部において、空き店舗、空きビル、空き家、空き地などの低未利用地が増加する現象。

コモンズ

地域住民が土地、施設、文化などの資源を共有地として共同管理・活用し、住民主体で地域コミュニティを形成・維持していく場所。

さ行

社会実験

新たな施策を本格的に導入する前に、場所や期間を限定して地域の方々とともに試行する取組。新たな施策の課題や効果などを、本格導入の前に把握するための調査。

重点課題地区

基本計画で定める特に土地の流動化が停滞している地区。

た行

段丘斜面林

河川の浸食によって形成された階段状の地形において、平坦な「段丘面」と、その下の低地をつなぐ急な斜面（段丘崖）によって形成された樹林。防災や生物多様性の保全、景観形成等の役割を持つ。

た行

地籍調査

主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。

土地の流動化

空き家・空き店舗、低未利用地等として固定化している不動産の取引・流通や利活用を活発化させること。

は行

バリアフリー

障害者、高齢者等の社会的弱者が社会生活を送るうえで障壁（バリア）となるものを除去すること。また、社会参加を困難にする社会的、制度的、心理的な全ての障壁を除去すること。本市では令和6年3月に「本庄市移動等円滑化促進方針（バリアフリーマスタープラン）」を策定しており、同方針と連携した取組を進める。

美装化

ブロック舗装やデザイン性の高い照明灯の設置等、周辺のまちなみとの調和や景観形成に配慮した整備を行うこと。

防災空地

平常時は周辺住民の憩いの場などとして活用され、災害時は火災の延焼の防止や、一時避難所や救援物資の中継地点といった防災機能を担う公園や広場のこと。

は行

歩車共存

車優位の道路空間を改善し、自動車の速度抑制や交通事故の防止等の対策により、車両の通行と歩行者の安全確保が両立すること。

や行

ユニバーサルデザイン

障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすくなるように、あらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方。

ら行

ランドバンク

公共性の高い団体等が主体となり、空き家や空き地を管理、再生することで流通や利活用を促進する仕組み。

リノベーション

古い建物等到大規模な改修を加え、今の時代に適したあり方に変え、新しい機能を付与すること。

本庄駅北口周辺まちなか再生方針

（本庄駅北口周辺整備基本計画アクションプラン）

発行 本庄市
編集 都市整備部市街地整備室
〒367-8501
埼玉県本庄市本庄3-5-3
TEL 0495-25-1111(代表)
URL <https://www.city.honjo.lg.jp>
